

お得意様各位

平成20年2月1日

株式会社 タテムラ
システムサービス課
福生市牛浜104

LX 確定申告書及び個人決算書等プログラムの送付について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお取引を賜り誠にありがとうございます。

この度は「確定申告書等のプログラム」をご注文頂きまして、誠にありがとうございます。今回、開発状況からプログラムを2回に分けてお届け致します。

【2月1日発送プログラム】

所得税確定申告書システム(A様式、B様式(分離課税を除く)、損失第4表1・2
所得税確定計算書、確定申告添付書類)、個人決算書、消費税申告書、届出書セット

【2月13日発送プログラム】

所得税確定申告書システム(完成版)、贈与税申告書、減価償却(本案内文P.15をご覧ください)
LX電子申告システム(※前回ご案内した「電子申告特別パック」のご注文も受付中です。)

今回お届けする所得税確定申告書システムにおきましては、A様式、B様式(分離以外)、損失申告の入力・プリントができます。尚、確定申告書プログラムを大幅にリニューアル致しましたので、18年データ様式から新様式データへの変換作業が必要です。手順につきましては本案内文のP.11をご参照下さい。つきましては、同封の資料をご覧頂いてからご使用頂きますようお願い申し上げます。

今後とも倍旧のお引き立ての程、宜しくお願い申し上げます。

敬具

送付資料目次

※ご契約及びご注文にもとづき、以下の内容を同封しております。

送付プログラム

- ・LX用 所得税確定申告書システム・個人決算書・消費税申告書 届出書セット(端末用 環境設定を含む) CD-R 1枚

※サーバーが複数台ある場合でも共通で使用できます。

取扱説明書

- ・確定申告書システムI・II 各1冊

※確定申告書以外の取扱説明書はCD-R内にPDFファイルとして入っています。

※ご注文いただいたお客様(有料) OCR版個人決算書、消費税申告書 取扱説明書 各1冊

案内資料

- ・同封物の解説及びバージョン一覧表 1
- ・[1000]プログラムの更新作業 2～3
- ・GP5000環境設定インストール方法～XP 4～6
- ・GP5000環境設定インストール方法～Vista 7～9
- ・確定申告書プログラム変更内容の補足 10～12
- ・個人決算書プログラム注意事項 13～14
- ・[150]減価償却プログラム更新のご案内、ご注文書 15
- ・NPP860、LBPシリーズプリンタをご利用のお客様へ(手差しプリント) . . . 16

送付内容のお問い合わせ先

送付内容に関するお問い合わせにつきましては、サービス課までご連絡下さいますようお願いいたします。尚、保守にご加入のお客様はフリーダイヤルをご利用下さい。

TEL 042-553-5311 (AM10:00～12:00 PM1:00～3:30)
FAX 042-553-9901

以上

保守契約又はご注文に合わせて、以下のCD-Rが同封されます。



今回送付したCD-Rは

- ・LXのプログラム更新
- ・Windowsの環境設定
- ・PDFファイルの取扱説明書を1枚に入れて送付しています。

No.	ラベル名	枚数	備考
1	LX 平成19年分確定申告書・個人決算書 消費税・届出書・GP申告情報登録 GP5000環境設定 各種取扱説明書 PDF	1	プログラムインストールCD-Rです。 契約プログラムのみインストールします。 お客様が起動できるプログラムの内容とCD-Rのラベルは一致しません。(保守契約書又は同封の伝票をご確認下さい。)

●バージョンNo.一覧

下記のプログラムは[F9] (申告・個人・分析) の1頁目から2頁目に表示します。

PG番号	プログラム名	HD-VER	備考
97	GP年度更新	V-1.38	
120	消費税申告書	V-1.13	付表6の新様式に対応しています。
300	個人決算書	V-1.07	平成19年個人決算書の様式に対応しています。 減価償却欄が変更になっています。
330	所得税確定申告書システム	V-1.00	プログラムをリニューアルし、平成19年確定申告書の様式に対応しています。 ※分離第三表、修正第五表、電子申告へのデータ変換は入っていません。
795	データシークレット	V-3.02	GPデータしかない場合でも、過年度データに対して保護をかけられるようにしました。
1100	GP申告情報登録	V-1.10	
1110	届出書セット	V-1.10	

※ 今回の確定申告書等の更新に関係のないLXサーバおよび単体マシンをお持ちの場合
その機械にも本転送を行って下さい。
お手数をお掛けしますがよろしくお願い致します。

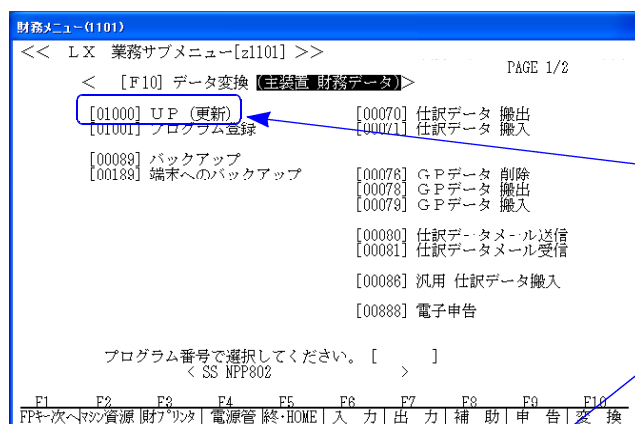
●バージョン確認後

環境設定のCD-Rは必ず保管して下さい。(機械が故障した際に使用します。)
※今回より前に発送した環境設定CD-Rは破棄していただいて結構です。

※今回の確定申告書等の更新に関係のないLXサーバおよび単体マシンをお持ちの場合その機械にも本転送を行って下さい。お手数ですがよろしくお願い致します。

● 操作方法

- ① 「平成19年 確定申告書・個人決算書～」と書かれているCD-Rを用意します。
- ② **F10** データ変換のメニューを呼び出します。

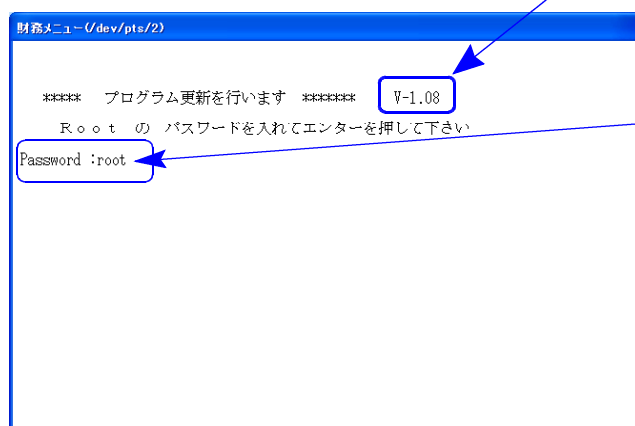


初期メニューより **F10** データ変換を選択します。**[1000] UP (更新)** を呼び出します。

1000 **Enter** を押します。

左下図の画面を表示します。バージョンが1.04以上であることを確認して下さい。

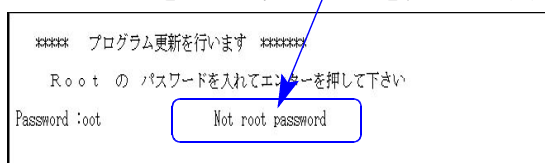
1.03以下の場合はシステムサービス課までお問い合わせ下さい。



1.04以上の場合は、**Enter** を押します。(rootは入力しません)

r o o t は消さないように注意して下さい。

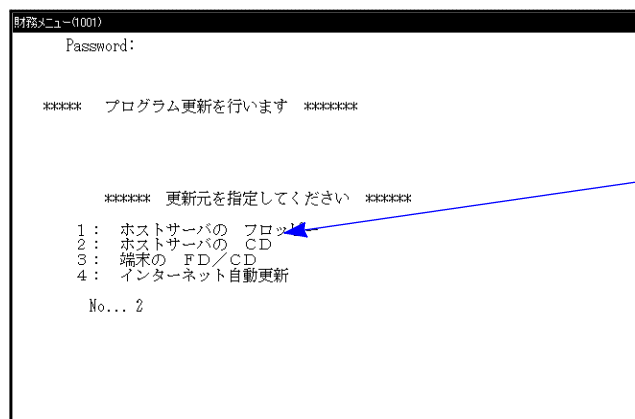
※パスワードを消した場合エラーを表示します。



- ※ ・2005年8月以降納品の機械(LX-TURB010)
- ・単体でLXを使用している場合

は端末CDで作業して下さい。

- ③ 下図の画面を表示します。

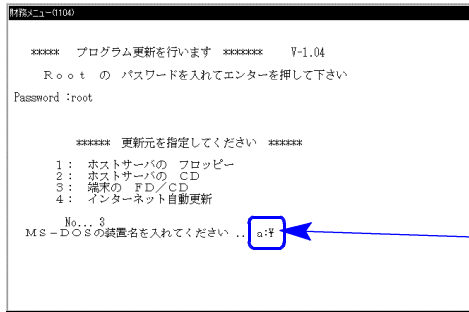


親機に「平成19年 確定申告書・個人決算書～」と書いてあるCD-Rをセットして、『2』ホストサーバのCDを選択します。

2 **Enter** と押します。

※2005年8月以降納品の機械、LXを単体で使用、ホストマシン(親機)にCD-ROMドライブがない場合は端末機にCD-Rをセットし **3** **Enter** を押します。

《 3: 端末のFD/CDを指定した場合 》

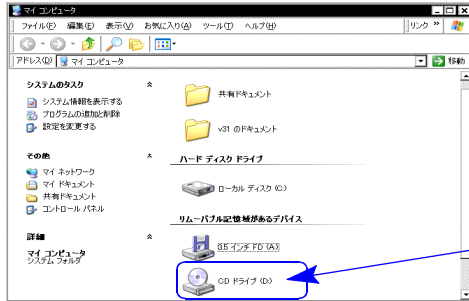


3: 端末のFD/CDを選択すると『MS-DOSの装置名を入れてください..a:¥』と表示されますので、CD-ROMのドライブ名を入力します。

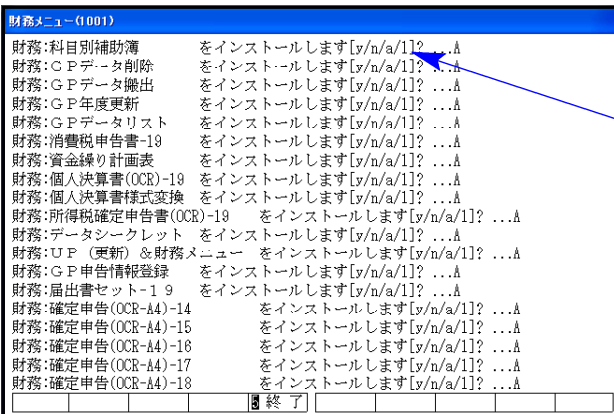
Dドライブの場合『d』と入力します。『d:¥』と表示されたら、Enterを押します ※お客様の機械によってドライブ名は異なります。下記の方法で確認して下さい。

CD-ROMのドライブ名の確認方法

マイコンピュータを開きます。CD-ROMのドライブを確認して下さい。

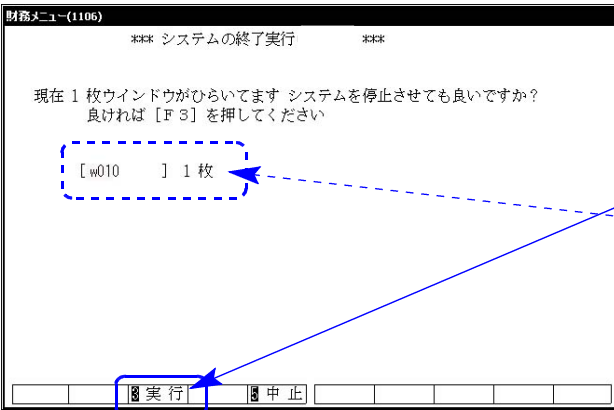


左図の場合はCD-ROMドライブは『D』です。



④ インストールを実行します。左図の1行目の画面を表示します。『○○○をインストールします[y/n/a/1?...]』 a 又は 1 を選択します。

※誤って、y を選択した場合は2行目以降で a 又は 1 を選択して下さい。

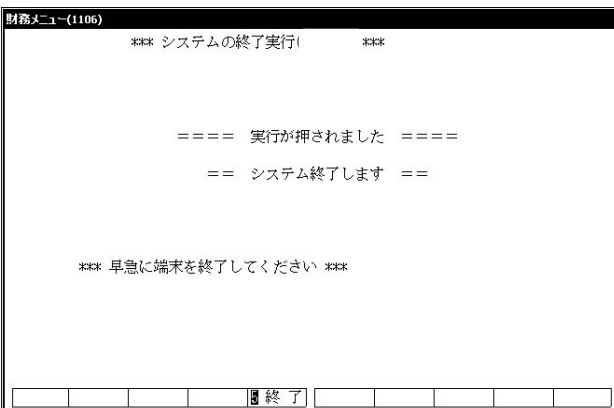


⑤ 左図の2行目以降を表示します。終了が出た後しばらくお待ち下さい。

⑥ インストールが終了すると左図の画面を表示します。

CD-Rを本体から取り出してください。他の端末が起動していないことを確認して実行(F3)を押します。

※ここに複数表示する場合は他の端末が動作中です。一旦終了して下さい。1台のみの場合は現在作業している機械ですので実行(F3)を押して下さい。



⑦ 再度しばらくお待ち下さい。左図の画面を表示した後、しばらくすると自動的にマルチウインドウ端末が終了します。

⑧ 単体の場合はLXシステムを終了し、Windows画面、もしくは『LXランチ』まで戻ります。

ネットワークの場合は親機の電源が切れるまでしばらくお待ち下さい。

⑨ 電源が切れたあと3分ほど待ち、再度LXを起動します。

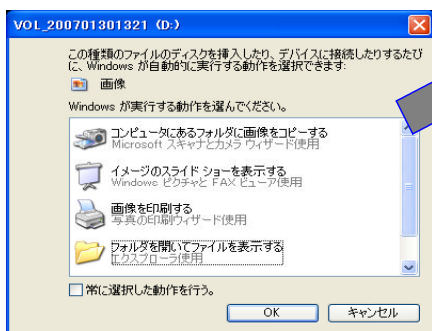
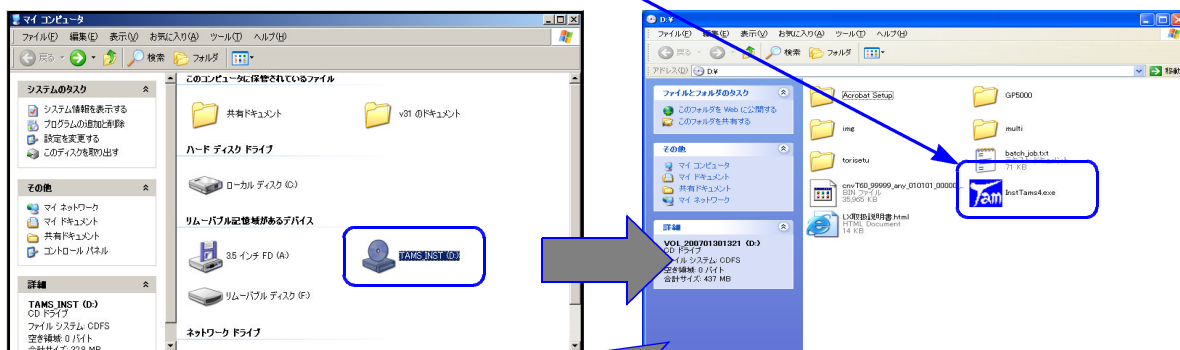
※親機を複数台持っている場合は、本CD-Rにて更新作業を同様に行ってください。

転送前の確認事項

- インストールを行う際は、全てのプログラムを終了して下さい。（マルチウィンドウ端末も閉じて下さい。）終了せずインストールを行うとプログラムが正常に動作しません。

各プログラムのインストールは下記に沿って各端末機で行って下さい。

1. 今回送付した平成19年確定申告書のCD-Rを用意し、端末機にセットします。
2. マイコンピュータをダブルクリック→CD-ROMドライブをダブルクリックします。CD-Rの内容を表示しますので『InstTams4.exe』をダブルクリックします。

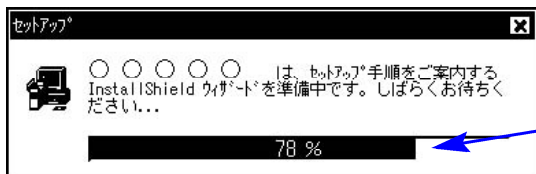


※CD-Rをセット後、左図を表示した場合は『フォルダを開いてファイルを表示する』を選択してOKにマウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押すと右上の画面を表示します。

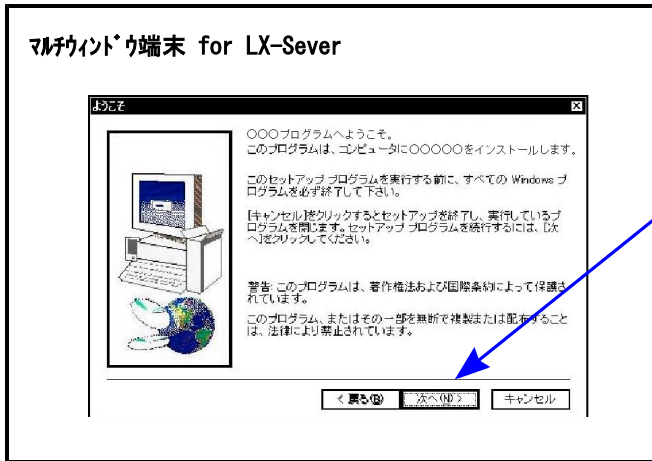


3. マルチウィンドウ端末『更新』にマウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押します。
※新規用は機械が故障した際に使用します。選択した場合はエラーを表示します。

次の画面が出るまでしばらくお待ち下さい。

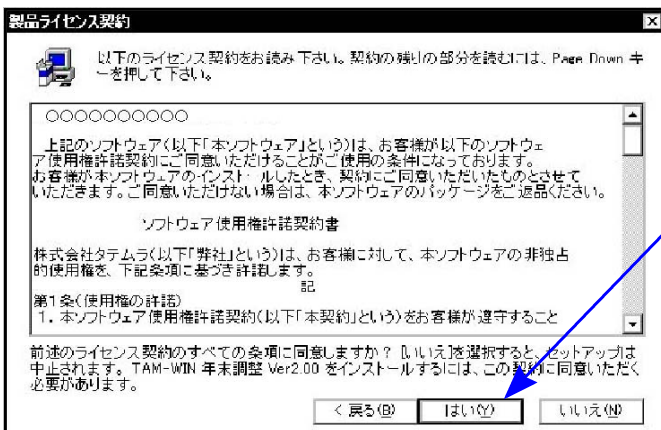


4. 左図の画面を表示します。
「100%」になるまでお待ち下さい。



5. 左図の画面を表示します。

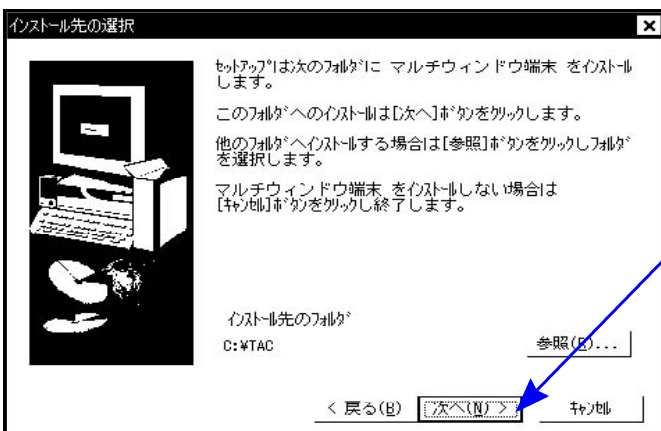
マウスの矢印を「次へ」に合わせ
左ボタンを1回押します。(クリック)



6. 左図の画面を表示します。

マウスの矢印を「はい」に合わせ
左ボタンを1回押します。(クリック)

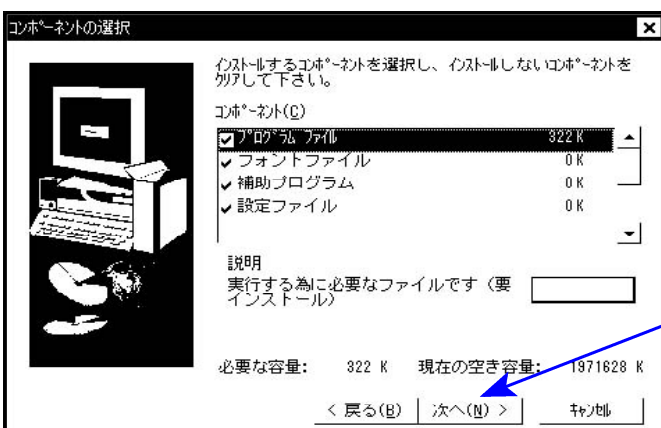
※確定申告書等の環境設定では
この対話を表示しません。
7.へ



7. 左図の画面を表示します。

マウスの矢印を「次へ」に合わせ
左ボタンを1回押します。(クリック)

しばらくお待ち下さい

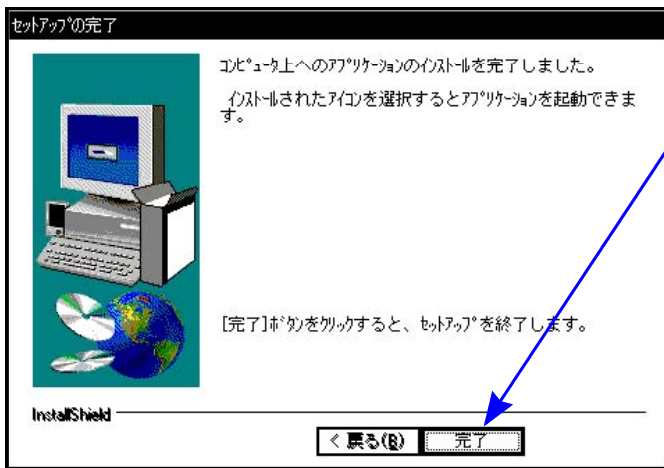


8. 左図の画面を表示します。

※確定申告書等の環境設定では
「プログラムファイルの選択」の画面
を表示します。

マウスの矢印を「次へ」に合わせ
左ボタンを1回押します。(クリック)

しばらくお待ち下さい



9. 「セットアップ完了」と表示したらマウスの矢印を「完了」に合わせて左ボタンを1回押します。(クリック)



10. 左図の画面に戻ります。次に、同封の納品伝票をご確認いただきお届けしている各プログラムの環境設定をインストールします。

『平成19年 確定申告書システム』等をインストールします。各プログラム名の右横の『新規』にマウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押します。

11. P.4『4.』からの作業を実行します。

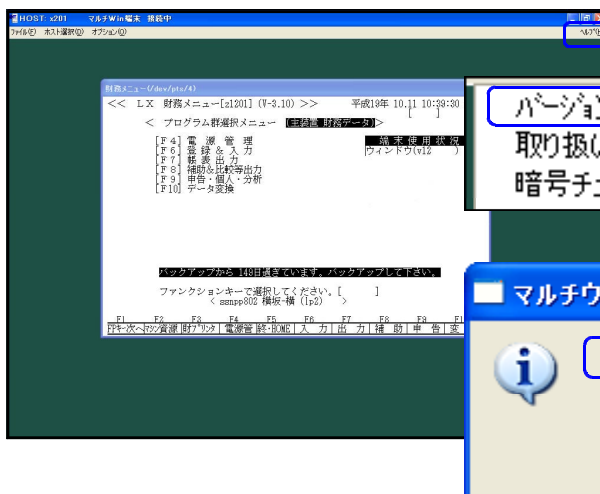
12. すべてのインストールが終了したら、マウスの矢印を閉じるに合わせ左ボタンを1回押します。

13. CD-Rを取り出し、Windowsを再起動して下さい。

以上でインストール作業は終了です。

マルチウィンドウ端末のバージョン確認方法

更新作業が終了しましたらWindows再起動後にマルチウィンドウ端末を開き、以下の方法でバージョンの確認を行って下さい。



1. マルチウィンドウ端末の右上のヘルプをクリック。

2. バージョン情報をクリック。

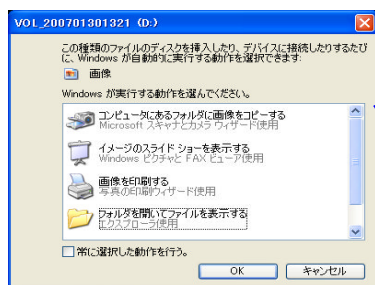
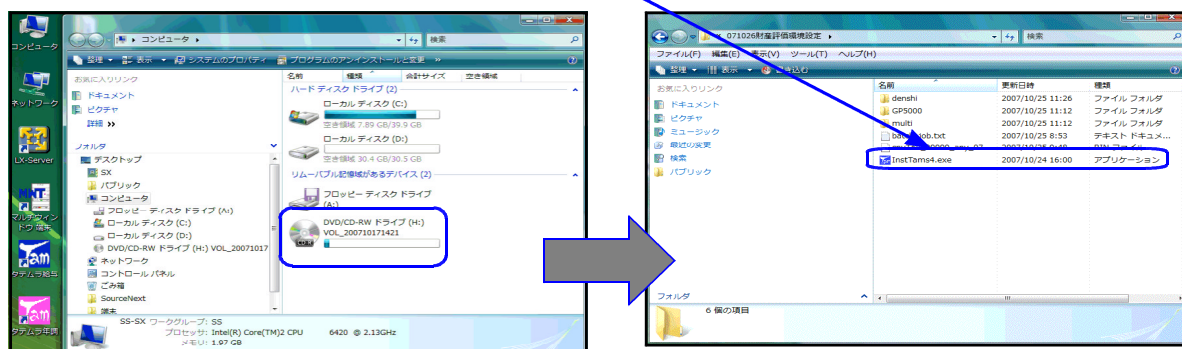
3. バージョンを表示します。「V-3.12」になっているか確認して下さい。

転送前の確認事項

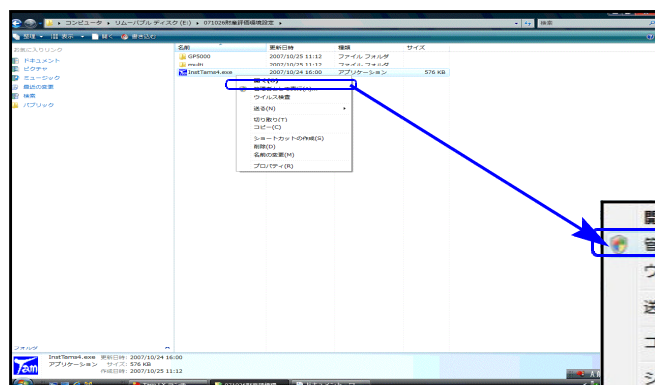
●インストールを行う際は、全てのプログラムを終了して下さい。（マルチウィンドウ端末も閉じて下さい。）終了せずインストールを行うとプログラムが正常に動作しません。

各プログラムのインストールは下記に沿って各端末機で行って下さい。

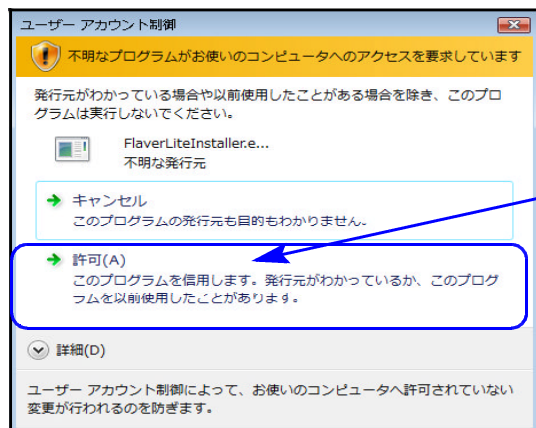
1. 今回送付した『平成19年確定申告書等』のCD-Rを用意し、端末機にセットします。
2. マイコンピュータをダブルクリック→CD-ROMドライブをダブルクリックします。CD-Rの内容を表示しますので、『InstTams4.exe』をダブルクリックします。



※CD-Rをセット後、左図を表示した場合は『フォルダを開いてファイルを表示する』を選択してOKにマウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押しすると右上の画面を表示します。



3. 左図の画面より『管理者として実行』にマウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押しします。（クリック）

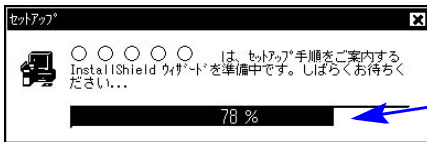


4. 左図の画面が表示されますので、「許可」にマウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押しします。（クリック）

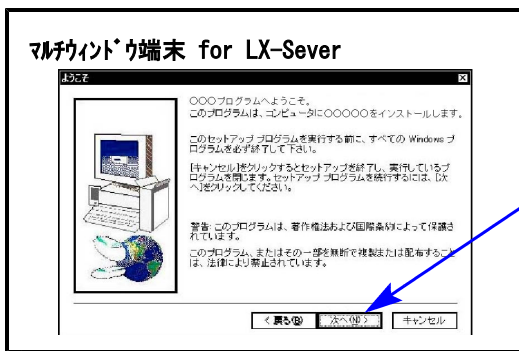


5. 左図の画面を表示します。
マルチウィンドウ端末『更新』にマウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押します。
※新規用は機械が故障した際に使用します。選択した場合はエラーを表示します。

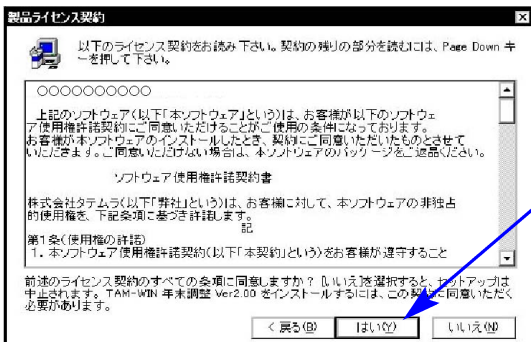
次の画面が出るまでしばらくお待ち下さい。



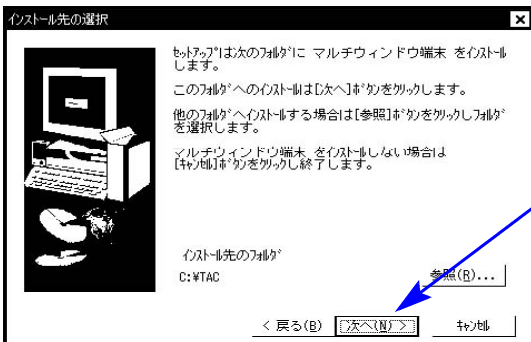
6. 左図の画面を表示します。
「100%」になるまでお待ち下さい。



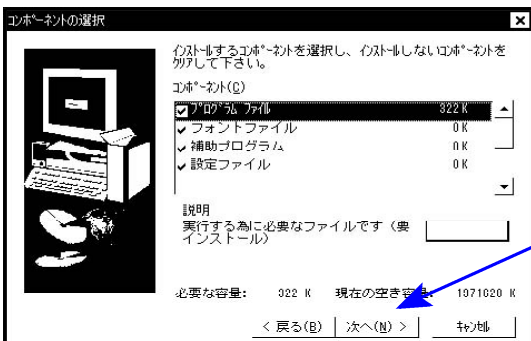
7. 左図の画面を表示します。
マウスの矢印を「次へ」に合わせ左ボタンを1回押します。(クリック)



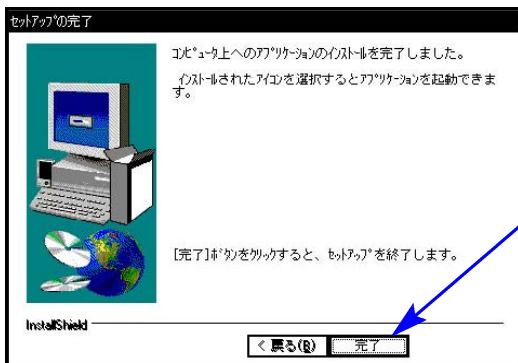
8. 左図の画面を表示します。
マウスの矢印を「はい」に合わせ左ボタンを1回押します。(クリック)
※確定申告書等の環境設定ではこの対話を表示しません。→ 9.へ



9. 左図の画面を表示します。
マウスの矢印を「次へ」に合わせ左ボタンを1回押します。(クリック)
しばらくお待ち下さい



10. 左図の画面を表示します。
※確定申告書等の環境設定では「プログラムフォルダの選択」の画面を表示します。
マウスの矢印を「次へ」に合わせ左ボタンを1回押します。(クリック)
しばらくお待ち下さい



11. 「セットアップ完了」と表示したらマウスの矢印を「完了」に合わせて左ボタンを1回押します。(クリック)

12. 左下図の画面に戻ります。

次に、同封の納品伝票をご確認いただきお届けしている各プログラムの環境設定をインストールします。



『平成19年 確定申告書システム』等をインストールします。

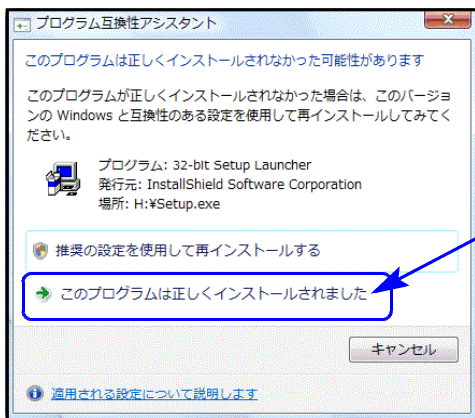
各プログラムの右横の『新規』にマウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押します。

13. P.8『6.』からの作業を実行します。

14. すべてのインストールが終了したら、マウスの矢印を「閉じる」に合わせて左ボタンを1回押します。

15. CD-Rを取り出し、Windowsを再起動して下さい。

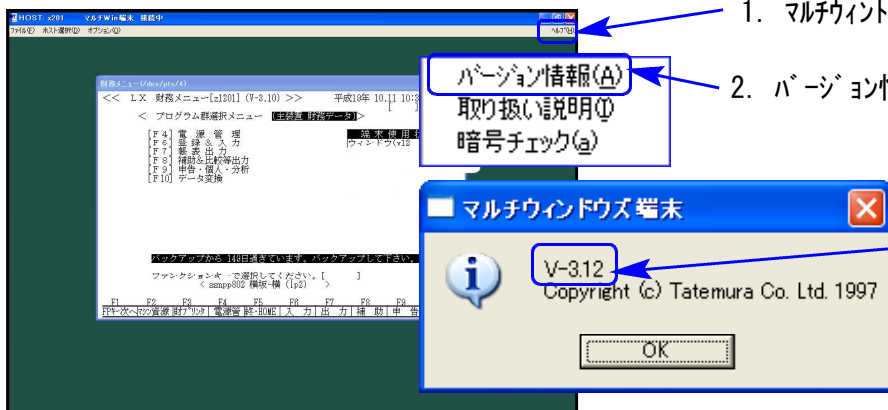
以上でインストール作業は終了です。



※インストール終了後に左図の画面を表示した場合は「このプログラムは正しくインストールされました」にマウスの矢印を合わせ、左ボタンを1回押します。(クリック)

●マルチウィンドウ端末のバージョン確認方法

更新作業が終了しましたら、Windows再起動後にマルチウィンドウ端末を開き、以下の方法でバージョンの確認を行って下さい。



1. マルチウィンドウ端末の右上のヘルプをクリック。

2. バージョン情報をクリック。

3. バージョンを表示します。「V-3.12」になっているか確認して下さい。

平成19年の改正内容については先日送付したとおりですが、その他プログラム等の注意点等につきまして補足致します。

● 今回の送付プログラムにおいて作成できる表

A様式、B様式(分離以外)、損失第4表

11	確定申告A：第1表
12	確定申告A：第2表 所得の内訳等・住民税に関する事項
13	確定申告A：第2表 所得控除
21	確定申告B：第1表
22	確定申告B：第2表 所得の内訳等
23	確定申告B：第2表 所得の控除
24	確定申告B：第2表 住民税に関する事項
25	損益の通算の計算書
31	確定申告分離：第3表 ※※ 分離は使用不可です ※※
41	確定申告損失：第4表
51	確定申告修正：第5表 ※※ 修正は使用不可です ※※

今回分離、修正申告は作成できません。

以下の各明細書

11	所得の内訳書
21	財産及び債務の明細書
31	医療費の明細書
32	医療費の明細書(続)
41	住宅借入金等特別控除
51	株式譲渡の計算明細書
52	上場株式損失繰越用付表
61	譲渡所得の内訳書

以下の電子申告添付書類

※添付書類の入力はできますが電子申告はまだできません

※入力可能ですが電子申告には未対応です。しばらくお待ちください。	
1	給与所得の源泉徴収票の記載事項
2	公的年金等の源泉徴収票の記載事項
3	特定口座年間取引報告書の記載事項
4	退職所得の源泉徴収票・特別徴収票の記載事項
5	雑損控除に係る領収書等の記載事項
6	医療費に係る領収書等の記載事項
7	社会保険料等に係る控除証明書等の記載事項
8	寄付金(政党等寄付金)の受領証等の記載事項
9	住宅取得資金に係る借入金の年末残高等証明書の記載事項

※分離および電子申告対応につきましては、次回2月13日発送のプログラムにて可能になります。

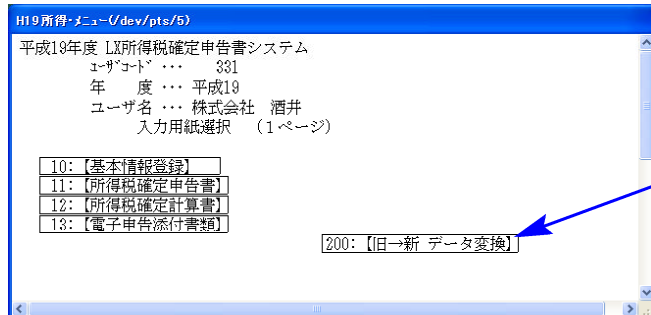
今しばらくお待ち下さいますようお願い致します。

● データ変換作業が必要です

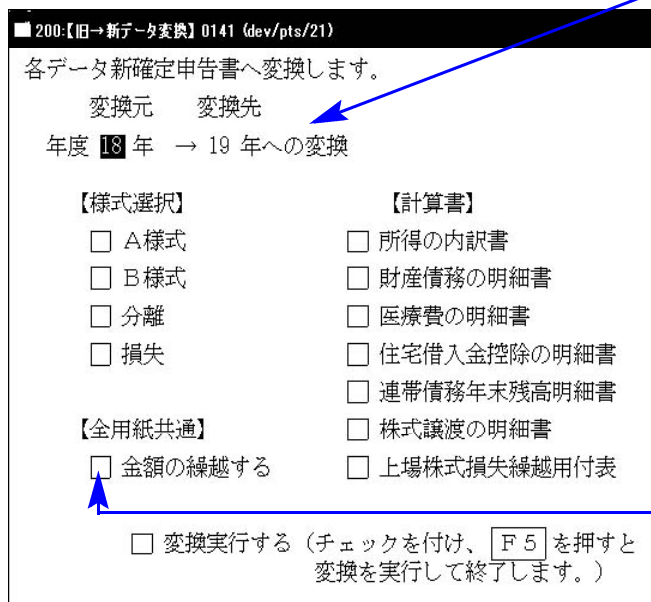
前回ご案内のとおり、プログラムをリニューアル致しました。
個人情報登録・家族情報登録などを一元管理する等のため、内部でのデータ保存場所を変更しております。

新プログラムの入力メニュー内、[200:旧→新 データ変換]を行うことにより、前年データを生かして平成19年度の確定申告書を作成することができます。

変換は各ユーザごとに様式を指定して行います。



1. 【330】LX所得税確定申告書システムを呼び出し、ユーザコードを指定して「1:入力・訂正」を選択します。
2. [200:旧→新 データ変換]を選択。
3. 左下図の変換指定画面を表示します。
4. 変換元と変換先年度を指定します。



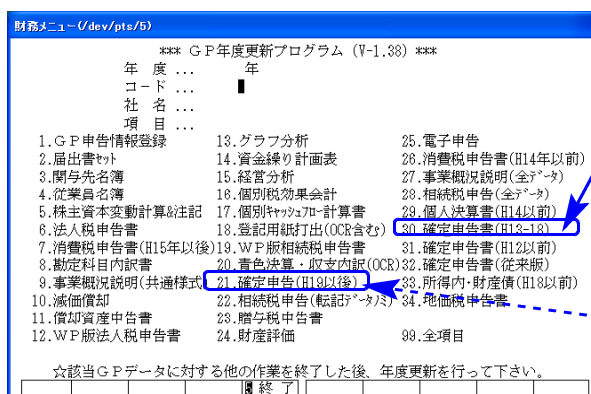
5. 変換元と変換先年度を指定します。
 - ・既に【97】GP年度更新で確定申告データを平成19年に更新済の場合
変換元 19年 → 変換先 19年
 - ・年度更新をしていない場合
変換元 18年 → 変換先 19年
 - ※この場合、変換作業が年度更新になります。
6. 変換する表のチェックボックスをクリックしてチェックを付けます。(複数選択可)
7. 更新先データに金額を変換する場合にチェックを付けます。(チェックを付けない場合、更新先データの金額欄はすべて空になります。)

変換内容等、詳細につきましては取扱説明書「確定申告書Ⅱ」をご参照下さい。

7. 変換を実行します。
チェックボックスをクリックしてチェックを付け F5 キーを押します。

● 平成18年データの年度更新は、[30. 確定申告書(H13-18)]で行います。

【97】GP年度更新のメニュー内にプログラム年に合わせて複数確定申告書の番号があります。
[200:旧→新 データ変換]にて18→19年へデータ変換を行う場合は年度更新が不要ですが、改めて平成18年以前のデータを更新する場合は[30. 確定申告書(H13-18)]を指定して下さい。



※今後、平成19年度プログラムで作成したデータを年度更新するときは
[21. 確定申告(H. 19以後)]を指定します。

● 新確定申告書プログラムの操作手順 (詳しい操作方法につきましては取扱説明書をご覧ください。)

F9 2頁目の【330】LX所得税確定申告書システムを呼び出し、ユーザコードを指定します

1. データ変換を行います ※前年データを生かして平成19年度の確定申告書を作成する場合

「1:入力・訂正」を選択します。

[200:旧→新 データ変換] 前頁を参照して下さい。

2. 入力を行います

「1:入力・訂正」を選択します。

[10:基本情報登録]

申告者情報、還付金融機関、税理士情報、家族情報を入力します。



[12:所得税確定計算書] ※所得の内訳書、医療費の明細書、住宅借入金等特別控除額の計算明細書等の明細書入力がある場合

各計算明細書を入力します。入力したデータをA様式、B様式へ転記できます。



[11:所得税確定申告書]

AまたはB様式の入力を行います。

入力は各様式の第1表で行い、第2表はほとんど確認するだけです。

損失申告の場合：

B様式第1表ア～クと①～⑦、43の入力→第4表の入力→B様式第1表で入力
→第2表の確認と住民税・事業税に関する事項等の入力

3. プリントを行います

「1:入力・訂正」の[10:基本情報登録]内の印刷設定

官製用紙への住所、氏名、番号等の印刷有無、白紙の住用紙のプリントの有無を指定します。



「2:プリント」を選択してプリントする表番号を指定します。

プリントメニュー 1 ページ：各確定申告書

” 2 ページ：各確定計算書

” 3 ページ：各電子申告添付書類

のメニューが入っています。

※電子申告に伴うプリントの修正について※

平成18年度までのプログラムでは第2表の扶養親族欄等、行数よりも入力データ数が多い場合は1行に2データのプリントを行っていました。

新プログラムでは1行に1データのプリントを行い、行数を超えた分の金額を「次葉合計」として印字すると共に、別紙へ行数を超えた分のデータをプリントします。

平成19年個人決算書の変更内容は前回送付したとおりですが、以下の注意点をご確認ください。

重要

- 平成18年以前のデータを呼び出す場合は償却方法が変わってしまうことを防ぐため、【300】* でプログラム年とデータ年を指定して下さい。

平成19年プログラムにおいては減価償却の償却方法を番号で選択して頂くことにより記憶できるようになりました。

平成18年プログラムで作成したデータは償却方法を番号で持っていないため、平成19年プログラムで呼び出すと均等償却、一括償却以外は**全て定額**となります。このため平成18年以前のデータは【300】* でデータ年とプログラム年を指定して呼び出して下さい。

The screenshot shows the 'Program Selection Menu' with options F4 to F10. A blue arrow points from the instruction '1. 【300】* を押します。' to the '300' key on the keyboard. Another blue arrow points from '2. データの期首年を指定します。' to the '18' key. A third blue arrow points from '3. プログラム年を指定します。' to the '15' key. A text box at the bottom right shows the keyboard input: '【300】' followed by '平成: 15 16 17 18 19'.

※過年度を見る頻度が高い場合は、次頁資料の【795】データシークレットプログラムにてデータの書き換え禁止保護をかけて頂くこともお勧めします。

●年度更新

平成19年のプログラムから償却方法を番号で記憶できるようになったため、各償却方法に合わせた自動繰越が可能となりました。

これにより、個人決算書の年度更新時に「18年プログラムで作成したデータか、19年プログラムで作成したデータかの指定」が追加になっております。(年度繰越方法が異なるため。) 更新元データを作成したプログラム年を指定して下さい。

The screenshot shows the 'Annual Update' screen with the title '個人決算書 年度更新'. It prompts the user to specify the program's usage year. Below the prompt, it states: '19年以後のプログラムを使用の場合は1' and '18年以前のプログラムを使用の場合は2を選択してください。' At the bottom, there is a '終了' (End) button.

【97】 G P 年度更新

20. 青色決算・収支内訳書 (OCR)

データシークレットは[F 6]登録&入力に入っています。

※今までGPデータしかない場合、過年度のデータ呼び出せませんでした。今回の更新で呼び出しができるようになりました。ぜひご利用ください。

● 呼び出し方

プログラム番号で選択してください。[795]
期首年を入力してください。[] 60~64:昭和、1~59:平成

F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	F10							
FP	次へ	資源	財	力	終	HOME	入	力	出	力	補	助	申	告	変	換

財務メニュー(1002)
*** 仕訳/GPデータシークレット (V-1.00) ***

ユーザ.....[]
GPユーザ.....[]

機能選択.....[]

☆該当ユーザに対する他の作業を終了した後
仕訳/GPデータの保護を行って下さい。

F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	F10
					終	HOME			

1. **795** データシークレットを選択します。

795 **Enter** を押します。

※年度の指定を行う場合は
795 ***** を押します。

左図を表示します。

2. ユーザコードを指定します。

例) 1001 **Enter** と押します。
↑
ユーザコード

※仕訳データがない場合には **↓** を
押してGPユーザにユーザコードを入力します。

● 変更禁止保護

4. 変更禁止保護を行うと、データの読み込み参照はできますが、変更ができなくなります。この保護をかけることにより、平成19年の個人決算書プログラムで平成18年のデータ呼び出してもデータが変更されてしまう心配はありません。

※1社1年ごとの作業となります。

財務メニュー(1002)
*** 仕訳/GPデータシークレット (V-1.00) ***

年度.....平成12年
ユーザ.....[1001:株式会社 東京商事]
GPユーザ.....[1001:株式会社 東京商事]

1.シークレット保護
2.シークレット保護解除 **** 設定不可 ***
3.パスワード変更 **** 設定不可 ***
4.変更禁止保護 **** 設定不可 ***
5.変更禁止保護解除

機能選択.....[]

現在 変更禁止保護中
パスワード設定済み

F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	F10
					終	HOME			

1. 4. 変更禁止保護 を選択します。

2. 「現在変更禁止保護中」と表示すれば設定作業完了です。

解除するには、5. 変更禁止保護解除を選択すれば終了です。

減価償却プログラムにて現在手入力していただいております新定率法の「改定償却率」「保証額」を、自動計算するように機能アップ致します。

- ・改正保守ご加入のお客様
次回2月13日発送時に更新版をお届け致します。
- ・改正保守未加入で更新をご希望のお客様
ご注文書へ必要事項をご記入の上、FAXにてシステムサービス課へご注文下さい。
(2月8日までにご注文いただいた場合は次回2月13日発送時に更新版をお届け致します。)

■ 減価償却プログラム価格表 (税込金額)

1本分	2本分	3本分	4本分	5本分
52,500	63,000	73,500	84,000	94,500

※改正保守にご加入頂いていないお客様は上記金額が毎回かかります。この機会に改正保守をご検討頂きますようお願い致します。必要な場合は別途お見積り致します。詳しくは、納品時同封の『LX保守のご案内』をご一読下さい。

改正保守《減価償却、償却資産セット》

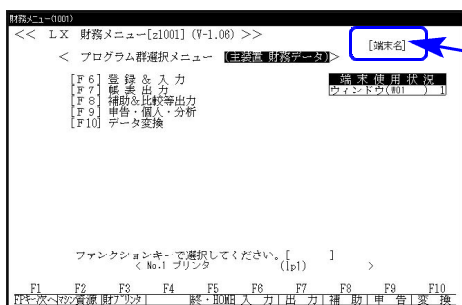
1台分 月額1,050円 年額10,500円 ※セット割引掛率 2セット/1.2、3セット/1.4
4セット/1.6、5セット以降/1.8

《 ご 注 文 書 》

■ 減価償却プログラム

本数	価格	端 末 機 名
本	¥	

※端末台数が多く、書ききれない場合は欄外へご記入下さい。



＜端末機名＞

プログラム群選択メニュー画面に端末機名を表示していますので、ご確認下さい。

例) x01、w010等

お申し込み金額合計 円

御社名	
ご住所	

ご注文FAX 042-553-9901

NPP860、キヤノンLBPシリーズプリンタで手差しプリントをした際に、プリンタ側の設定を「手差しモード」に指定しているにもかかわらずホッパからプリントしてしまう場合は、以下の対処にて問題を解決することができます。

原因

NPP860：手差しの用紙とホッパの用紙が同じサイズで、セットしているタテ・ヨコの向きが異なる場合にホッパ優先になってしまうことがあります。

LBP シリーズ：手差しの用紙とホッパの用紙が同じサイズでセットしている場合にホッパ優先になります。



対処方法

NPP860：ホッパの用紙サイズのダイヤルを、手差し用紙セットの向きに合わせます。
官製用紙を手差しでプリントする場合「A4タテ」にセットしますので、A4用紙を入れているホッパのダイヤルを『A4タテ』にします。

LBP シリーズ：ホッパの用紙サイズ設定スイッチを、手差し用紙以外のサイズに変更します。
官製用紙を手差しでプリントする場合「A4」にセットしますので、A4用紙を入れているホッパの用紙サイズ設定スイッチを『A4以外』にします。